

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十七年

四月

我子を入園させる心

——國民的祈願——

朝早くから目をさまして、さつさと仕度くを急いで、いそぐと先きへ歩いてゆく。我子ももうこんなに大きくなつたものかと思ふお母さんの心は、どんなに嬉しいことであらう。御自分もにこ〜と、まるで、自分が入園するやうな、かわいらしい、いゝお顔をしてあられます。我子の生育ほど、母に喜びを感じさせるものはありません。そのお母さんの心には、我子の將來が金色に浮んであることであらう。えらくなつてお呉れ。賢くなつてお呉れ。名を揚げてお呉れ。こんな心も、未だのもしく浮き上つて來ることであらう。我子の幸福を想ふ母の祈念ともいふものでせうか。

しかし、我子を入園させる心はこういふことだけではありません。又、こんなことだけではなりません。眞に日本人らしい日本人になつて下さいよ。國のお役に立つ國民になつて下さいよ。陛下に忠義を盡す國民になつて下さいよ。——これこそ、日本の母が、我子を入園させる心です。

國民學校へ我子を入學させる心が、此の通りであることは言ふまでもありません。幼稚園の場合でも、可愛らしさの中にふうわりと包まれてこそ居れ、國民的たることに於て、母の心の奥は全く同じです。

幼稚園から

○御入園でおめでたうございます。お子さんも、どんなにかお喜びでせうが、何んといつても、小人数の我家から始めての世の中(?)ですから、お子さんも氣づかれがあらませう。楽しいなりに初めの興奮といふものは多少ともおありでせう。それをよく氣づけて上げて下さい。

○幼稚園から歸つたら、手を洗ひ、うがひをする。これだけは是非初めからつけた習慣ですが、その後は、軽いお入つも結構でせう。子どもなりに一休みといふところが、たゞ當節、そのおやつにお困りでせうがね。

○夕御飯は成るべく早く、そうして早寝。これこそ第一番の肝要です。どんなことがあつても夜ふかしは絶対藥物と忘れないで下さい。ゆうべ睡眠が足りてゐるかならないか、幼稚園ではすぐ分りますよ。そして、親御さんなうらみませう。